

2026年2月13日

 中電環境テクノス株式会社

730-0041 広島市中区小町4番33号

脱炭素経営セミナー「GX時代に勝ち残る経営戦略」の開催について

当社は、地域企業の脱炭素に向けた取り組みを支援するため、脱炭素経営セミナー「GX時代に勝ち残る経営戦略」を開催しますのでお知らせします。

1. 開催日時

2026年3月3日（火） 13：15～16：45

2. 開催方法

会場のみ

3. 開催会場

とりぎん文化会館 第2会議室（鳥取県鳥取市尚徳町101-5）

4. 定員

80名（先着）

5. 参加費

無料

6. 主催

中国経済産業局、株式会社鳥取銀行、中国電力株式会社、中電環境テクノス株式会社

7. その他

プログラムの詳細や申し込みフォームは添付のチラシをご覧ください

以 上

【お問い合わせ】

中電環境テクノス株式会社

事業推進部カーボンニュートラルグループ

TEL：(082) 242-0294

脱炭素経営セミナー

GX時代に勝ち残る 経営戦略

CO₂見える化・削減の「今」を知り、
他社を一步リード！
～「コスト」から「メリット」への発想の転換～

参加
メリット

- ① 激変する様々な要請の「今」が分かる
- ② CO₂見える化により取引先との信頼関係を強固に
- ③ サプライチェーンの中の強み・弱みを可視化し経営強化のヒントが得られる！

日時 令和8年 **3月3日(火)** 13:15～16:45

会場 **とりぎん文化会館 第2会議室**
(鳥取市尚徳町101-5、駐車場無料)

参加費 **無料** 定員 **80名(先着)**

申込 右記二次元コードまたはメールで参加者情報を送付ください
Email contact.kouho@hd.energia.co.jp



基調講演

演題:「国内外の事例から考える
中小企業も脱炭素経営に
取り組む必要性」

講師: **池田 陸郎 氏**
Permanent Planet株式会社
代表取締役



私たちは一丸となって鳥取県の脱炭素活動を応援しています

主催:  経済産業省
中国経済産業局

 **Energia** 一日も。百年も。
中国電力

 **鳥取銀行**

 **中電環境テクノス株式会社**

協力: 鳥取県、公益財団法人鳥取県産業振興機構、NPO法人エコパートナーとっとり

後援: 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会

脱炭素経営セミナー

GX時代に勝ち残る 経営戦略

CO₂見える化・削減の「今」を知り、
他社を一步リード！
～「コスト」から「メリット」への発想の転換～

なぜ今、CO₂の見える化が必要なのか？



取引先からの要請

2026年4月から排出量取引制度がスタートし、取引先からの情報開示の必要性が増える可能性



金融機関からの要請

CO₂排出量削減で金利優遇も



社会からの要請

環境に優しい商品・サービスへのニーズの高まり

プログラム

- 13:15 開会あいさつ
- 13:20 基調講演
「国内外の事例から考える
中小企業も脱炭素経営に取り組む必要性」
PermanentPlanet株式会社 代表取締役 池田陸郎氏
- 14:30 講演①「企業が取り組むべきカーボンフットプリント」
中電環境テクノス
- 15:00 講演②「鳥取銀行の脱炭素経営支援」
鳥取銀行
- 15:30 休憩
- 15:35 情報提供①「CO₂の見える化は省エネ診断から」
NPO法人エコパートナーとっとり
- 15:45 情報提供②「中国電力の脱炭素ソリューション」
中国電力
- 15:55 情報提供③「令和7年度補正・8年度国の施策について」
中国経済産業局
- 16:05 情報提供④「鳥取県の脱炭素の取り組み」
鳥取県
- 16:15 情報提供⑤「環境経営・GX推進で県内企業を伴走支援」
鳥取県産業振興機構
- 16:25 個別相談

講師プロフィール



PermanentPlanet株式会社
代表取締役

池田 陸郎氏

早稲田大学政治経済学部卒 東レ(株)、カーボンフリーコンサルティング(株)を経てデジタルグリッド(株)へ入社。全国で各種カーボンクレジットの創出やカーボン・オフセットの企画、各種クレジット制度の運営や普及活動(講演・研修など)に携わる。企業やサプライヤー、自治体向けのサステナビリティ教育や生物多様性経営プロジェクトの開発、小中高生向けの次世代教育事業を実施中。

申込フォーム

お申し込みは右の二次元コード▶
または下記メールで参加者情報を送付ください。



お問い合わせ

セミナー事務局

中国電力株式会社鳥取支社 電話0857-36-7006 Email contact.kouho@hd.energia.co.jp